

コープ未来の森づくり基金 × 円山動物園コラボ企画



第1回

どんぐりプロジェクト2018

# 円山の植物や樹木、 春の目覚めと成長 を観察しよう！



どんぐりプロジェクト2018は…

北海道の森の子カラと、そこで生まれるいのちのつながりを学び、円山のどんぐりや木のタネを植えて、未来の森を育てる人になりましょう。環境を守る知恵とパワーを身につけた、子どもレンジャーになりませんか？ 年4回の円山動物園で行われるプログラムです。

今回のテーマは…

円山の森を歩いて生き物たちや、動物園の動物たちの様子を観察して、春の森の様子を感じてみましょう。一昨年前の秋に植えたどんぐりが、この春にどこまで成長しているかもみんなで見つけます。

開催日時 2018年5月12日(土) 9:30~14:00 参加者 小学生10名

講師 山本牧(もりねっと北海道) 協力 円山動物園職員・飼育員

## プログラムレポート

### ● 出発前に春の森について知っておこう

みんなで集まったら、まずは講師の山本牧さんが春の森の花や動物のスライドショーを見せてくれました。まだ寒い春に咲く花は、他の植物や木々が茂らないうちに早春の光を独占してしまうのです。生き物は、生き残って子孫を繁栄させるためにいろんな作戦を練るのだと教えてくれました。



### ● 円山の原生林の大木はすごかった！

いよいよ外に出ると、動物園の入り口ではどんぐりの木(ミズナラ)が花を咲かせていたよ。どんぐりの花って、地味なのだ…。どンドン歩いて行くと、大きな木があちらこちらに。そのうちの1本、ひときわ大きな木を見つけた。「カツラ」という種類なんだって。どのくらいの太さなのかな？ 根元を、みんなで手をつないで一周してみると、なんと14人も必要だった！ こんなに大きな木が生えていることにびっくり。円山の森って、すごいのだ。



### ● 生き物豊かな動物園の森

円山動物園の森は、普段は入れないから人がいなくて静か。動物たちもリラックスしているのか、すぐにエゾリスに会えた。今年は天気がいまいちのせいか、森の池にカエルの卵やおたまじゃくしは見られなかったけど、帰りにはシマヘビがいて、触ることができたよ。ヘビの体はツルツルしていて触るときもよかった。



裏面につづく



## ● 円山の両生類について教えてもらう

動物園の森では会えなかったけど、動物園の爬虫類・両生類館で北海道の両生類について教えてもらったよ。札幌という大都市にあってカエルたちが繁殖できる環境がある円山はすごいんだって、飼育員の本田直也さんが教えてくれたんだ。



## ● 外でのお弁当、おいしいな。

お昼休み。お弁当は動物園の芝生の上で。5月のさわやかなお天気の下で食べるお弁当はおいしかったよ！



## ● どんぐりの芽は大きくなった？

午後は一昨年前の秋に植えたどんぐりの苗畑を見に。かわいい芽がたくさん出ていたよ。どのくらい大きくなったのか、メジャーで測って記録しておいたから、次に来た時に何cm育ったのかわかるはず。大きくなっていくのを見るのが楽しみ！



## ● 北海道の森の住人、エゾシカ

次はエゾシカ舎でシカの話聞いたよ。エゾシカの食べ物の話や角の話、おもしろかったな。エゾシカもどんぐりを食べるなんて、想像もしていなかったし、あんな大きな角が毎年生え変わるなんて、シカも大変なんだなあ。冬に食べる木の皮っておいしいのかしらん。



## ● ふりかえり

最後に、アンケート用紙に今日見たり学んだりしたことをまとめたよ。カツラの木の大きかったこと、シマヘビの目や体の色が違うこと、などなど、初めて知ったことがたくさんあった。次回は、どのくらいどんぐりの芽が育っているか、とか、虫がたくさん観察できそうなのが楽しみだ！



おわり

次回 どんぐりプロジェクト2018

虫の目で 札幌の森を  
見てみよう！

第2回は、生命躍動する真夏が舞台！ 森での観察を通して、生き物の営みを見つめる目を育みます。虫たちの生態や、その虫を食べる動物たち。自然の中に息づく「つながり」を、原生林のとなり、円山動物園ならではの手法で学びます。夏休みの自由研究のヒントもいっぱいです！

7/31(水)  
10:00~15:00

- 集合時間 / 9:45 (受付開始 9:30~)
- 集合場所 / 円山動物園正門前 (動物園プラザ入口)
- 定員 / 先着 20 名 (小学 3 年生以上) ● 参加費 / 一人 500 円
- 持ち物 / お弁当、飲み物、天候に合わせた服装 (雨具、長靴など) 筆記用具、虫除け

お申込

「どんぐりプロジェクト2018」と明記の上、参加者全員の①郵便番号、住所②氏名(フリガナ)③年齢・学年④電話番号⑤メールアドレスを記入し、メールまたはFAX、ハガキでお申込ください。

メール [csapmori@todock.jp](mailto:csapmori@todock.jp) FAX 011・671・5743

はがき 〒063-8501 札幌市西区発寒 11 条 5 丁目 10-1 コープさっぽろ基金事務局

※お申込の際にいただいた個人情報は、コープさっぽろからの資料の発送やご連絡のみに使用いたします。

メールは  
こちらのQR  
からもどうぞ





# 虫の目で 札幌の森を見てみよう



## どんぐりプロジェクト2018は…

北海道の森の子カラと、そこで生まれるいのちのつながりを学び、円山のどんぐりや木のタネを植えて、未来の森を育てる人になりましょう。環境を守る知恵とパワーを身につけた、子どもレンジャーになりませんか？ 年4回の円山動物園で行われるプログラムです。

## 今回のテーマは…

円山の森を歩いて虫たちの暮らしをのぞいてみましょう。動物園の動物たちが食べるものを見たり、動物の暮らしを学びながら、虫たちや動物たちや森がどんなふうにつながっているのかを考えてみましょう。

開催日時 2018年7月31日(土) 10:00~15:00 参加者 小学生16名

講師 山本 牧 (もりねっと北海道) 協力 円山動物園職員・飼育員

## プログラムレポート

### ●動物園の森にはいろいろな虫たち

まずは普通の人には入れない動物園の森へ行こう！ 真夏の森の濃い緑に覆われて少し涼しい。ちょっとした倒木をめくると、アリやヤスデや、何かの幼虫とかがたくさん出てくることにびっくり。それから、森にはカタツムリも大きいのから小さいのまでたくさんいるんだ。アブラゼミの翅が落ちていたけど、カラスに食べられたのかな。オオムラサキの死体を見つけた時はびっくりした。クワガタが見つけれなかったのがちょっと残念だったな…。



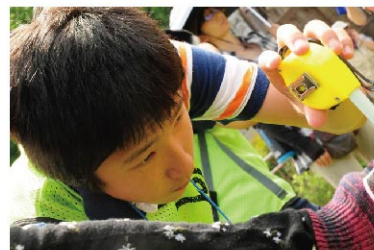
### ●森の動物たちの暮らしは

お弁当を食べた後には講師の山本さんが動物のスライドを見せてくれた。自動撮影に写っているのは、クマとかシカとかキツネ、それからアライグマも。マイペースなクマ、好奇心いっぱいのシカ、用心深いキツネ…動物にもいろいろな性格があるんだなあ。それから、うくむらさんのトンボの話もおもしろかった。池と川で住んでるトンボがちがうんだって！



### ●春のどんぐりの芽、どうなった？

さて、春に大きさを測ったどんぐりの芽はどうなったかな。あれから3ヶ月、もういちど計測しに行こう。いっぱい葉っぱも茂って、背も50cmくらい大きくなっていった！ でも葉っぱに病気があったり、アブラムシがたくさんついていたりしてちょっと心配だな。元気に大きくなれよー！



裏面につづく



## ●クマの食事はハイスピード！

動物園の人にヒグマの餌やりを見せてもらったよ。あちこちに置いた餌の中身は、野菜やくだもの、それとクローバー。クマはうろうろ歩き回って、餌を見つけては食べるのだけど、その素早さに何を食べているのかぜんぜん見えなかった。近くで見るクマは迫力あるなあ！

## ●動物園の動物は何を食べてるの？

次は動物園の動物たちの食料庫を拝見！ 大きな冷蔵庫には、野菜や果物やパンとかがいっぱい入っていて、人間と同じものを食べてるんだなあ。ジャムやあんこもあるよ？と思ったら、これは薬を飲ませたりするときに使うんだって。-20℃のお肉や魚が入っている冷凍庫や、牧草の冷蔵庫も見せてもらって、動物が食べてるものって色々なんだなって分かった。

## ●食べて食べられて、つながりゲーム

最後に部屋で、一人一人に生き物とか池とか木のカードを渡されて、それがどんなふうにつながっていくかを体験するゲームをやってみた。どの生き物がどんな風に他の生き物とつながっているのか、考えたりみんなで意見を聞いたりしながら、どんどん一本のひもがみんなをつないでいく。はじめは一本のひもだって分かっていたけど、最後にはくもの巣みたいに複雑に張り巡らされて、わけがわからない状態になってしまったよ。生き物のつながりって、こんなにごちゃごちゃしてるんだ。森で見た虫や、動物園のクマやシカや、それから自分たちも、こんなふうには他の生き物たちとつながってるんだね。

## ●ふりかえり

最後に、アンケート用紙に今日見たり学んだりしたことをまとめたよ。動物の餌が入ってる冷蔵庫が寒かったこと、ライオンが1日に5kgもお肉を食べること、いろんなつながりに気づいた1日でした。次回はどんぐり拾いだって！

## ●保護者のアンケートより

保護者のみなさんからは「子どもたちの質問に一生懸命答えてくれる大人がいて良い！」「楽しそうに虫を見ている姿がとてもよかった」「生物に詳しいまわりの子どもやスタッフと興味深い話がたくさんできて楽しそうだった」などのうれしい感想をたくさんいただきました。次回もお待ちしています！

おわり



## 次回 どんぐりプロジェクト2018 秋

## 木の实を利用する生きものたち 苗づくりをしてみよう！

タネと森のいのちのつながりと、森育ての技を学ぼう。

一昨年秋に植えたどんぐりの苗畑で、間引いたり、移植したりするプロの技を学びます。

森の手入れのお話も交えて森づくりの技の伝授。

もちろん、タネと動物、森のつながりも学びます。

**9/24 (月・祝)**  
**10:00~14:00**

- 集合時間 / 9:45 (受付開始 9:30~)
- 集合場所 / 円山動物園正門前 (動物園プラザ入口)
- 定員 / 先着 20 名 (小学 3 年生以上) ●参加費 / 一人 500 円
- 持ち物 / お弁当、飲み物、天候に合わせた服装 (雨具、長靴など) 筆記用具、虫除け



お申込

「どんぐりプロジェクト2018」と明記の上、参加者全員の①郵便番号、住所②氏名(フリガナ)③年齢・学年④電話番号⑤メールアドレスを記入し、メールまたはFAX、ハガキでお申込ください。

メール [csapmori@todock.jp](mailto:csapmori@todock.jp) FAX 011・671・5743

はがき 〒063-8501 札幌市西区発寒 11条5丁目10-1 コープさっぽろ基金事務局

※お申込の際にいただいた個人情報は、コープさっぽろからの資料の発送やご連絡のみに使用いたします。

メールは  
こちらのQR  
からもどうぞ





# 木の实を利用する生きものたち 苗づくりを試してみよう



## どんぐりプロジェクト2018は…

北海道の森のチカラと、そこで生まれるいのちのつながりを学び、円山のどんぐりや木のタネを植えて、未来の森を育てる人になりましょう。環境を守る知恵とパワーを身につけた、子どもレンジャーになりませんか？ 年4回の円山動物園で行われるプログラムです。

## 今回のテーマは…

秋の森と動物園を歩いて、木や草の種を探してみましょう。森の木の実と動物たちの関係を考えてみます。拾った木の实（どんぐり）はポットに植えて育ててみましょう。どんぐりがどんな風に育っていくのか観察してみてください。

開催日時 2018年9月24日（月・祝） 10:00～15:00 参加者 小学生11名  
講師 山本 牧（もりねっと北海道） 協力 円山動物園職員・飼育員

## プログラムレポート

### ●秋の森のおはなし

秋の森の中では、動物たちは忙しそうにしているんだって。それは、食べ物のない、厳しい冬を越すための準備が大変だから。北海道に住んでいるリスは2種類いて、両方とも住むところも冬の過ごし方もちがうんだね。それと、リスたちが森の木々の種を運んで、森づくりをしていることもおどろきだった。



### ●円山の森でリスに会う

外に出て円山の森を観察。マムシグサのきれいな色の実や、どんぐりや、バナナみたいなカツラの種、それからオニグルミなど、いろんな種を見つけたよ。クルミをかじる野生のエゾリスにも会えたんだ！ 一生懸命クルミを食べてる姿はかわいかったな。



### ●動物園でリスに会う

今度は動物園のリスに会いに行ったよ。獣医さんから、動物園のふだんのリスの食事の話や、どうしてクルミやどんぐりなどの堅い木の实が好きなのかというお話を聞いて、堅い実には長く貯蔵できるんだなあ、とわかったよ。それからどんぐりをリスに食べさせてみた。すぐに食べるのもいたし、どんぐりを貯蔵しようとしたのか、埋めようとしていたリスもいたんだ。こうして埋めておいて、その場所を忘れてしまうと、どんぐりも芽を出して、木が育つことがあるんだって。



裏面につづく



●タネのかたちのひみつを知る

午後は木の実、つまりタネについて教えてもらったよ。タネにはいろんな形や大きさがある。それは、どうやってタネを遠くに運ぶかっていう、タネの作戦が違うからなんだって。羽根がはえて風を使って飛んだり、生き物にくっついたり、動物に食べられることで遠くに運ばれたり、植物っていろんなことを考えているんだってことに驚いたよ。

●植えたどんぐり、どうなってるかな？

次は、どんぐりを拾いながら、2年前にどんぐりを植えた苗畑を見に行ったよ。今年はどんぐりが豊作で、大きな実をたくさん拾うことができた。苗畑では、どんぐりの木が大きく育ってきて、夏に見たときよりもさらに育っていたみたいだった。

●ポットにどんぐりを植えてみる

今日、ひろったどんぐりはここでポットに植えてみるんだって。植え方を習って、3つずつ丁寧に。水のやり方や冬越しのさせ方を教えてもらったから、持って帰って育ててみよう。

●エゾシカ、どんぐりを食べる

帰りにエゾシカがどんぐりを食べているところを見せてもらった。エゾシカはふだんは牧草を食べさせているのだけど、どんぐりも大好きなんだって。地面に散らばったどんぐりを一生懸命食べていたよ。

●ふりかえり

最後に、今日のことを「どんぐりシート」にまとめたよ。リスがどんぐりを埋めて忘れてしまうことや、エゾリスとシマリスは暮らし方が違うこと、鳥にタネを運んでもらうナナカマドなど、おどろいたことがたくさんあった。次回は冬、雪の上をスノーシューで歩くのが楽しみ。どんな生き物に会えるかな。

●保護者のアンケートより

今回も「野生のエゾリスを間近で見れた」「シマリスとエゾリスの違いがわかった」などの驚きや、「子どもが生き生きと楽しそうにしている」「スタッフがじっくりと子どもの話を聞いてくれてよかった」「今日植えたどんぐりが芽を出したら、円山に植えたい」などの感想をいただきました。次回もお待ちしています！

おわり



次回 どんぐりプロジェクト2018

冬の森で生きものはどんな暮らしをしているの？

動物の顔(逃げ顔・追いかけて顔)から普段の暮らしを想像しよう

食べものもなく、冷たい雪に覆われても生きものたちはどこかで生きています。スノーシューで雪の森を歩いて彼らの冬の暮らしを見てみましょう。動物園では、動物たちの顔つきからその生態について学びます。



1/12 (土)  
10:00~14:00

- 集合時間 / 9:45 (受付開始 9:30~)
- 集合場所 / 円山動物園正門前 (動物園プラザ入口)
- 定員 / 20 名様 (応募者多数の場合抽選)
- 参加費 / 一人 500 円 ※保護者の方は別途入園料が必要です
- 持ち物 / お弁当、飲み物、天候に合わせた服装 (防寒具、長靴など)、筆記用具

お申込

「どんぐりプロジェクト2018」と明記の上、参加者全員の①郵便番号、住所②氏名(フリガナ)③年齢・学年④電話番号⑤メールアドレスを記入し、メールまたはFAX、ハガキでお申込ください。

メール csapmori@todock.jp FAX 011・671・5743

はがき 〒063-8501 札幌市西区発寒 11 条 5 丁目 10-1 コープさっぽろ基金事務局

メールはこちらのQRからもどうぞ



※お申込の際にいただいた個人情報は、コープさっぽろからの資料の発送やご連絡のみに使用いたします。

お問い合わせ コープさっぽろ基金事務局 TEL 011-671-5651



# 冬の森で生きものは どんな暮らしをしているの？

動物の顔(逃げ顔・追いかけて顔)から普段の暮らしを想像しよう

## どんぐりプロジェクト2018は…

北海道の森のチカラと、そこで生まれるいのちのつながりを学び、円山のどんぐりや木のタネを植えて、未来の森を育てる人になりましょう。環境を守る知恵とパワーを身につけた、子どもレンジャーになりませんか？年4回の円山動物園で行われるプログラムです。

## 今回のテーマは…

秋の森と動物園を歩いて、木や草の種を探してみましょ。森の木の実と動物たちの関係を考えてみます。拾った木の实(どんぐり)はポットに植えて育ててみましょう。どんぐりがどんな風に育っていくのか観察してみてください。

開催日時 2019年1月12日(土) 10:00~15:00

参加者 幼児~小学生9名

講師 山本 牧(もりねっと北海道)

協力 円山動物園職員・飼育員

## プログラムレポート

### ●冬の森のおはなし

冬の森の動物たちはどんな暮らしをしているんだろう？雪がたくさん降り、食べ物もないのじゃないかしら？講師の山本さんはスライドで、秋に見たエゾリスの冬の暮らしや、ヒグマの冬眠について教えてくれた。動物たちはそれぞれいろんな工夫で、厳しい冬を乗り越えていることがわかった。

### ●雪の森を歩いて、動物たちの暮らしを想像しよう

雪の上を快適に歩ける「スノーシュー」を履いて動物園の森にでかけてみた。すぐにキツネの足跡をたくさん見つけたよ。木にはキツツキが空けた大きな穴や、リスかテンが木登りをした爪の跡など、さがせば動物たちが森で生きている証拠はたくさんあるんだね。あ！あそこ！キツネだ！

### ●動物たちは食べたり食べられたり

森の動物たちの暮らしを想像したあとは、動物たちの目の位置について、本物の頭の骨を見ながら教わったよ。よく観察すると、目のつき方が違うんだ。シカの目は横についてる。ライオンの目は前についてる。広く見て危険をいち早く見つけるか、視野が狭くても正確に獲物との距離感をつかめるか、動物の暮らしのスタイルの違いが目の位置からわかるんだなあ。

裏面につづく





## ●頭の骨も、冬の毛皮も触ってみよう！

なんと、動物たちの頭の骨や、毛皮に触ってみた。もちろん本物だよ。キツネやシカの毛皮はふわふわで暖かそう。こんな毛皮を着込んで冬を乗り来んだね。キツネとタヌキの頭の骨を比べると顔つきの違いもよくわかった。ライオンは迫力満点だったよ。それから歯の形を見ると食べ物の違いもわかるんだって。キツネやライオンはギザギザしてとんがっている。でも同じように迫力あるヒグマの歯は人間みたいに丸い奥歯だった。それは食べているものが人間と似ているからなんだって。

## ●オオカミのひみつ

動物園に出かけていろんな動物を見てみよう。オオカミ舎では飼育員さんからオオカミのお話を聞いたよ。普段食べているものや、飼育している部屋がなんで分かれているのか、とか。オオカミは僕たちが飼っている犬に似ているけど、手足の大きさや骨格が少し違って、とっても長い距離を走れる。そして、牙や爪はライオンやトラよりも鋭くないけど、その分仲間同士のチームワークで獲物を仕留めるんだって。だから仲間の関係はすごく大切なんだ。ここでも、動物たちの暮らし方を骨や体の作りから想像できるということがわかったよ。

## ●シカとかワシとかフクロウとか。

帰りに動物たちをいろいろ見ながら、顔つきからどんなものを食べているのか想像してみたよ。エゾシカは目が横についているから、なるべく早く敵を見つけて逃げるんだね。フクロウは目が人間みたいに真ん前を向いているから、狩りが得意。ワシはどうなのかなあ？いろんな動物を比べてみると、その動物たちの暮らしが想像できるのがおもしろい！

## ●ふりかえり

ふりかえりでは、森で静かに音を聞いたことや、足跡がたくさんあったこと、一人だけキツネに会えたことなんかを話し合ったよ。骨や毛皮に触ったことが面白かったりしたみたい。それからいろんな動物の顔を見比べると、どんな暮らし方をしているのか考えるヒントになるんだね。



おわり

## 次回 どんぐりプロジェクト2019 春

## 芽吹き、活動開始！

植物や動物の、春の目覚めと成長を観察しよう

長い冬が終わって動物たちも植物たちも活動をはじめます。

どんな生きものがどんな目覚めで春を迎えるのかな？ 円山の森と動物園で探しましょう。

春夏秋冬、生きものの暮らしを見つめる旅がスタートします！

**5/11 (土)**  
10:00~14:00

- 集合時間 / 9:45 (受付開始 9:30~)
- 集合場所 / 円山動物園正門前 (動物園プラザ入口)
- 募集 / 小学3年生以上20名様 (応募者多数の場合抽選)
- 参加費 / 一人500円 ※保護者の方は別途入園料が必要です
- 持ち物 / お弁当、飲み物、天候に合わせた服装 (防寒具、長靴など)、筆記用具



お申込

「どんぐりプロジェクト2018」と明記の上、参加者全員の①郵便番号、住所②氏名(フリガナ)③年齢・学年④電話番号⑤メールアドレスを記入し、メールまたはFAX、ハガキでお申込ください。

メール csapmori@todock.jp FAX 011・671・5743

はがき 〒063-8501 札幌市西区発寒11条5丁目10-1 コープさっぽろ基金事務局

メールはこちらのQRからもどうぞ



※お申込の際にいただいた個人情報は、コープさっぽろからの資料の発送やご連絡のみに使用いたします。

お問い合わせ コープさっぽろ基金事務局 TEL 011-671-5651